

第5回黒沢川流域協議会議事要旨

日時：平成15年3月22日（月） 19:00～21:00

場所：長野県南安曇庁舎 講堂

議事内容及び決定事項

- ・ 維持流量について検討状況説明
- ・ その他治水・利水対策の検討状況について報告

出された意見、質疑等

維持流量について

- ・ B区間でカジカを対象魚種とした根拠は、魚類調査の実施期間
 - ➡ 現地調査の結果、イワナはB,C区間に生息を確認したが、カジカの生息地はB区間に限定されることから、B区間では必要流量が多くなるカジカを対象魚種とした。
 - ➡ 調査は平成11年から12年の年間を通した期間。
- ・ 魚類調査を実施した対象数がデータの根拠として正しいか。
 - ➡ 魚類調査によりある程度の数把握し調査母数としているが、本日の意見も参考に今後の検討を進めたい。
- ・ 低水流量に関する流量観測は単年度によるものか。
 - ➡ 流量観測は、今年度に複数回行い、その都度実際の流量と計算による数値を比較して粗度係数の算出を行った。
- ・ 維持流量の算出が、結果ありきの検討ではないか。
 - ➡ 現地の流量を観測した結果、最低限必要な数値として算出している。
- ・ 今回の維持流量の算定とダム計画時のもので異なっているが、ダム計画時は地域に即したものでなかったのか。
 - ➡ ダム計画時の流量については、マニュアルに沿った一般的な数値に基づいて計算されたもので、今回、既存の環境調査（魚類）や実際に行った現地の流量を観測した結果から、流量を見直している。
- ・ 調整池でもダムと同じように水をためて維持流量をまかなえるのか。
 - ➡ 調整池は洪水時のみ水がたまるもので、平常時は水がないので利用できない。
- ・ 将来的に現在の取水口以外に新規の取水の予定はあるか。
- ・ 雑用水は維持流量に影響しないのか。
 - ➡ 雑用水は維持流量とは別に必要量を確保していく。

- ・ ダム無しの答申を受けた前提に黒沢川の水を最大限利用するということがあり、設定条件は良いと思う。
- ・ 上流部の伏没はいつの時期か。
 - ➡ 平成9年、10年に実施した同時流量観測結果では、上流部で8月に伏没を確認している。
- ・ 今まで長い間、現在の状況で黒沢の水を使用してきたが、維持流量が問題になったようなことがあるか。
 - ➡ 下流部は、夏場など完全に水が無くなってしまいう期間がある。上流部は時期によっては伏没する場所もあるが、所々にある淵などを利用して魚などは生息していたと考えられる。
- ・ ダム計画時の維持流量は地域の実態に即してなかったということか。
 - ➡ 実態に即さないということではなく、標準的な数値に基づいて数字を出したということ。今回は、豊水水利権の検討も踏まえるなかで、特異な河川であり維持流量についても検討を行うという答申に基づいて、維持流量の検討を行った。

治水・利水対策の検討状況について

- ・ 調整池計画にさいしては昔からの里山風景のあるところは残して欲しい。
- ・ 調整池のできるだけ一つにまとめて、数を少なくして欲しい。
- ・ 今までの経緯を踏まえ、利水対策は誠意を持って対応して欲しい。
- ・ 豊水水利権については、国にどう説明していくのか次回説明をお願いしたい。